

# 山佐交流センターだより

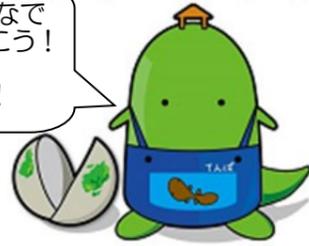
2021年（令和3年）1月発行号

発行日 令和3年1月20日

発行 山佐交流センター TEL(FAX) 35-0129

12月末の上山佐人口= 346人（対前月比 △2、対前年同月比 △16人）

上山佐をみんなで  
元気にしていこう！  
新型コロナに  
気をつけてね！



上山佐のイメージキャラクター  
「てんばごん」

## 年末年始 久しぶりの大雪に

ここ数年暖冬が続いていましたが、この年末年始にかけて久しぶりの大雪に見舞われました。更に水道管が凍結して破損したご家庭や、長時間の停電に見舞われた地区もあったと聞きました。大雪の際は高齢者世帯等の孤立も心配されます。隣近所で声を掛け合ったり家周辺の除雪を手伝うなどで、その防止に努めたいものです。水道管破損防止については露出した配管を保温材料で覆ったり、漏水チェックのため全ての蛇口を止め、水道メーターのパイロットと呼ばれる円形のメーターで確認してみましょう。全ての蛇口が閉めてあるにも関わらずそれが回っていたら漏水です。また長時間の停電でも暖がとれるよう、電気が不要な石油ストーブがあるかの確認もお忘れなく。



（写真は道路上の除雪が終わった後でも、まだ軽トラックの運転席ほどの高さの積雪が残る高木地区の様子）

## シリーズ「昔の写真から」～38豪雪

今回は昭和38（1963）年のいわゆる38（サンパチ）豪雪。掲載した写真は既に解体された広瀬町役場山佐支所での雪下ろし作業を写したものです。昭和38年1月5日夕方から降り出した雪は1カ月以上も続き、今までに経験したことのない豪雪となりました。上山佐での積雪量は不明ですが、奥田原では1月17日に230cmの積雪だったとの記録が残っています。休校となっていた山佐中学校は1月28日から登校を再開、しかし奥田原の生徒の通学は不可能だったため上山佐の家庭に下宿し、3月8日まで続いたそうです（参考資料＝広瀬町発行「合併40年の歩み」）。



また同じ島根県内の匹見町では、この豪雪をきっかけに集落ごとの移転が実施されました。当時の匹見町の大谷町長が、国会でまだ一般的ではなかった過疎という言葉を使って地域の実情を訴えたことなどから、その後「過疎」という言葉が広く定着する紀元になったと言われていいます。

また同じ島根県内の匹見町では、この豪雪をきっかけに集落ごとの移転が実施されました。当時の匹見町の大谷町長が、国会でまだ一般的ではなかった過疎という言葉を使って地域の実情を訴えたことなどから、その後「過疎」という言葉が広く定着する紀元になったと言われていいます。

## どこまで続くか？天馬山人気

天馬山の話、交流センターだよりでは昨年10月発行号から毎回取り上げています。報道機関では山陰中央テレビで放映されたのを皮切りに、山陰の3つの民放テレビ局で放映されたました。新聞では山陰中央新報はもとより中国新聞でも今月になってから記事を掲載いただきました。更に年末には全国で販売されている週刊朝日にも取り上げられ、『天馬山』の名前は全国に発信されました。更に別の週刊誌でも掲載いただけるかもしれないという情報もあります。



登山客については11月頃から多くなり、多い日には20人以上

登山された日もありました。累計では既に百数十人が登山されたのではないかと推測しています。

天馬山人気の行方は、今後アニメ鬼滅の刃ブームがどこまで続くのかということと連動すると思われます。主人公、炭治郎のコスプレ衣装は平日のみ貸し出しを行っていますが、「春休みの期間中は休日にも貸し出したらどうか？」という声もありますので、その実施方法を探ろうと努めているところです。また割れ石周辺の急勾配の歩道には、危険防止のための階段を設置する工事を計画しています。それぞれ地域の皆さんにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



（下の写真は、雪の中取材に来られたカメラマンと市役所職員そして案内の本山館長）

## オンライン会議用のパソコンが入りました

昨年の6月発行号で「オンライン体験してみませんか？」との記事を掲載しましたが、そのためのノートパソコンが市役所から各交流センターに配置されました。今後主催する各種会合やイベントでもオンライン形式を試してみたいと考えています。興味のある方は交流センターにお問合せください。



2月	地域行事・交流センター行事 などの予定
1月	健康体操
2火	
3水	てんばこどもクラブ
4木	健康体操、カラオケサークル てんばこどもクラブ
5金	てんばこどもクラブ
6土	
7日	
8月	健康体操
9火	
10水	てんばこどもクラブ
11木	
12金	てんばこどもクラブ
13土	
14日	
15月	健康体操
16火	
17水	クロリティ・スカットボール てんばこどもクラブ
18木	健康体操、カラオケサークル てんばこどもクラブ
19金	てんばこどもクラブ
20土	
21日	
22月	健康体操
23火	
24水	てんばこどもクラブ
25木	健康体操、てんばこどもクラブ
26金	てんばこどもクラブ
27土	
28日	

（予定は変更になることもあります）

## 【編集後記】

今回の大雪で、自宅周辺の雪かきに精を出された方も多かったと思います。冬季の雪かき、そして夏場の草刈、この地域に住んでいる者にとっての年中行事ですが、良く考えてみるとどちらも生産性は全くゼロ。一文にもならない仕事を黙々とやっています。街中に住んでいる方と比較すると「田舎には余計な仕事がある。」とも言えます。しかしそうした仕事があるからこそ、自然との共生、公共性という意識、そして忍耐力が養われるのではないのでしょうか？こうした余計な仕事のある田舎暮らし。少しでも前向きにとらえながら暮らしていきたいものです。